

長沢池

約30年ぶりに水を全部抜きました、この状況を
長沢池組合員の皆様に報告させていただきます。

平成30年11月11日

諸課題

- ① 水質改善
- ② 設備維持
- ③ 水量確保
- ④ 環境美化
- ⑤ 周辺設備
- ⑥ 用水路



平成30年10月8日撮影

諸課題1 水質改善

平成30年10月2日

樋門が完成した昭和62年以来30年ぶりに池水の浄化の為、水を全部抜いた。

その間のヘドロの体積量は約50cm。放置しておくと池は埋まる。今後は定期的なヘドロ抜きが必要である。

現状では、昔の如く、干ばつ期に、池の底を掘って云々の作業はヘドロが邪魔で無理。

まだまだヘドロが腰まで堆積している。まだ干して綺麗にすべきであるが、ゴルフとの契約の問題でこれ以上に干すのは遠慮した。



出島から～松島の道路が出現した。上の池のヘドロの排水はできない、今後の対策が必要。



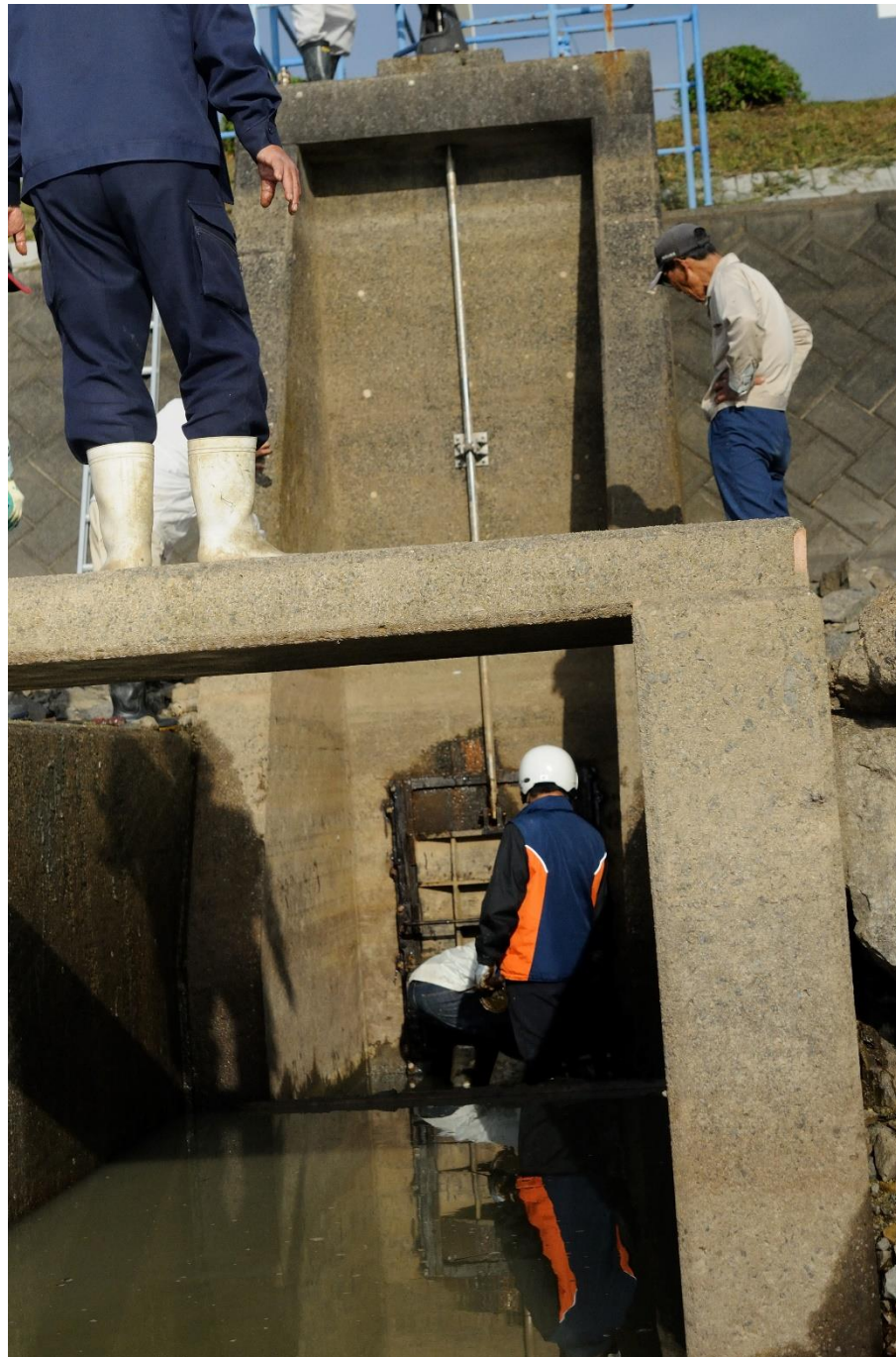
諸課題2 設備維持

樋門の点検を実施した、この作業は平成16年以来14年ぶり。

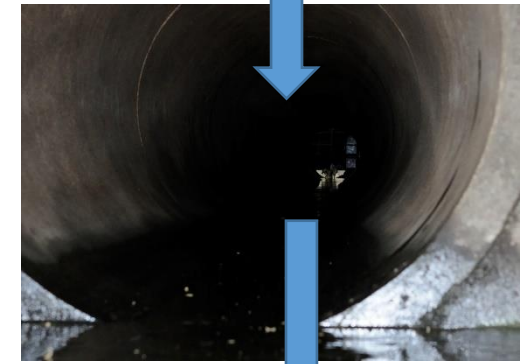
各地区世話人で樋門の目視点検・さび落とし、すり合わせ部のゴミの除去、さび止め剤、潤滑油塗布を実施した。

池から用水路への管路の様子、池からほぼ水平状態で設置されている。

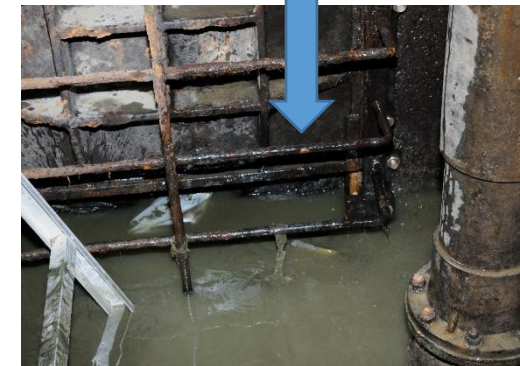
田中川側の排水門はまだ未整備、今後整備が必要である。



樋門下のへドロ



道路の下の用水路配管、水平に配置してある



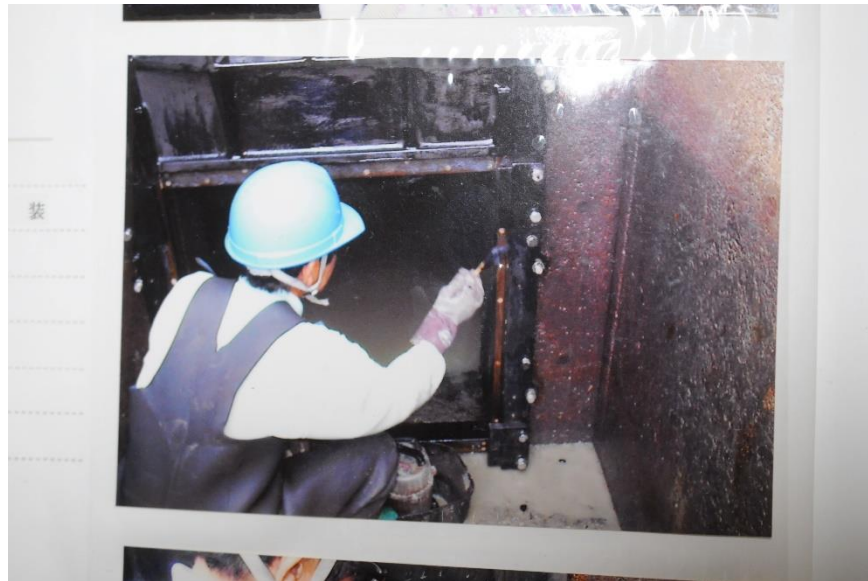
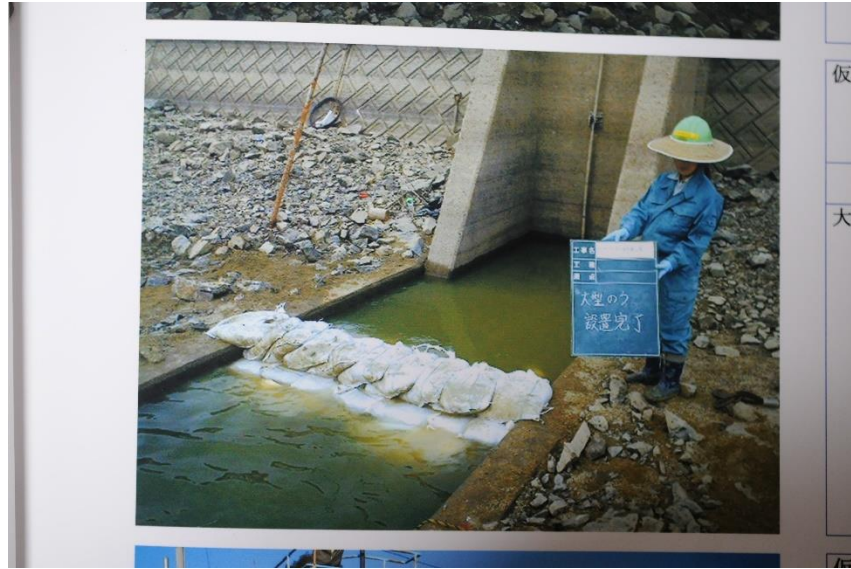
田中川への排水門。未整備状態

平成16年11月8日～
12月10日 の作業の
様子。

樋門の前に土嚢を設
置しており、池のヘド
ロは抜けていない。

この位置の水位レベ
ルは-350cm、この水
位まで用水として利
用できる。これ以下
の水位になると岡・大
村樋まで揚がらず、
用水として流せない。

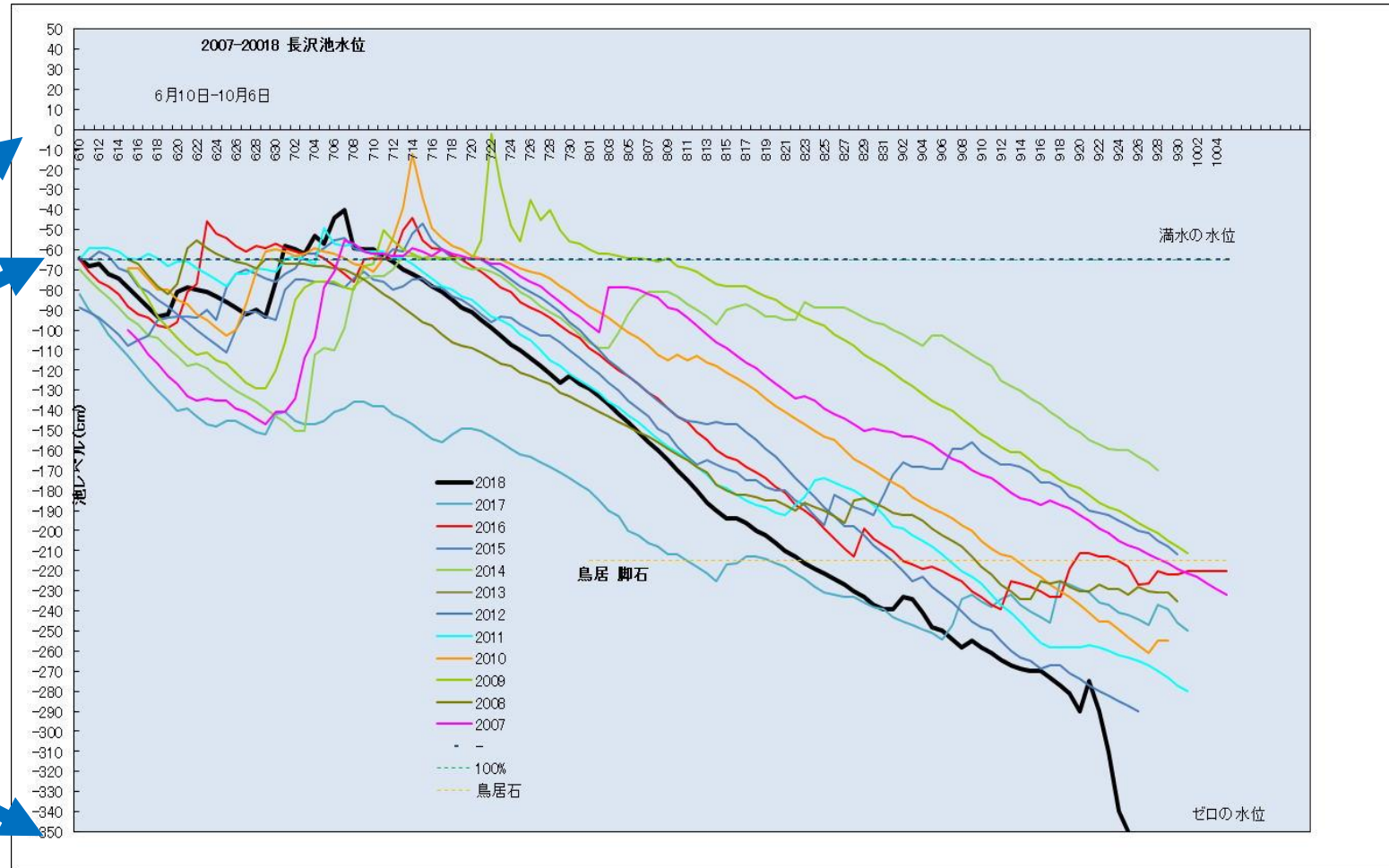
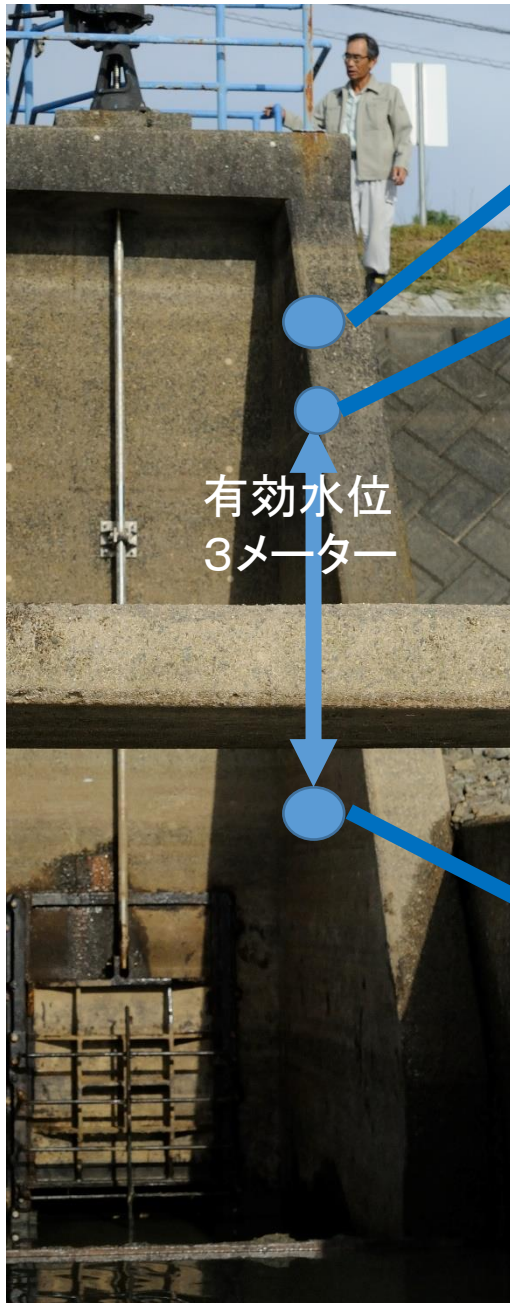
尚、満水時は-65cm
である。



諸課題3 水量確保

池のゼロ水位が判明。水位表の-350cmがゼロである。

堤防のコンクリート面より下350cmまで用水路に流せるということになり、今後の水位管理には役立つ結果を得た。



これ以下の水位になると用水路に揚がらない為、樋門の下のポンプを使ってくみ上げる設計だが、現状ではヘドロに埋まって難しいかと思われる。

諸課題4 環境美化

大量のヒシモ、
最近発生 of ハス
の取り扱い。



アオコ、波の花

富栄養分、が影響してできるアオコ、それが荒波でかき回されて発生する波の花(強風後には驚くほどの量になる事がある。)

関係者さんの協力で池のメンテをしなければならないが。なかなか多忙で人手不足。



諸課題5 周辺設備の維持

太鼓橋周辺の傷みがひどい。
東条九郎右衛門350年記念事業
として整備をしてはどうかと考えて
いる。

(1670年没+350=2020年、
すなわち2019年~2020年)
となる。

現在、太鼓橋の補修、道路の補修、
石垣の石ころ詰め作業は今宿区
自治会、長沢池の各地区世話人
の協力を頂き実施中。



近隣の熟練者さん
による太鼓橋の隙
間にコンクリートを
詰める作業

松島連絡道（法定外公用物）の石垣の補修作業

石の浮きが目立つ。工法としては、とにかく石垣の隙間に、人力でできるだけ小石を挿入。



浮き石の押し込み作業が終了の後、上部を土盛り、土は池の粘土を使う。



◎池の水位が上昇する前の10月末までに

◎人力で小石を隙間に詰める、その後、様子を見て目地コンを塗る

◎その後、単市事業の認可を待ち、認可が下り次第、業者を入れて本格的な修復をする。



世話人さん総出で、
石の隙間に小石を詰める作業



10月16日、倒壊していた危険だった弁天様参道から長沢池へ降りる石段は、今宿区自治会と長沢池の共同作業で整備を実施した。



10月30日には、遠足で遊びに来てくれた鑄銭司幼稚園児達がさっそく石段を下りて池端で遊んでくれました。
昔の様子を思い出しました。



10月5日 池全周域の目視点検



・国道2号台道寄りの周りに若干の不適切投棄物が見受けられたが、その他は概ね異常なし。

諸課題6 用水路

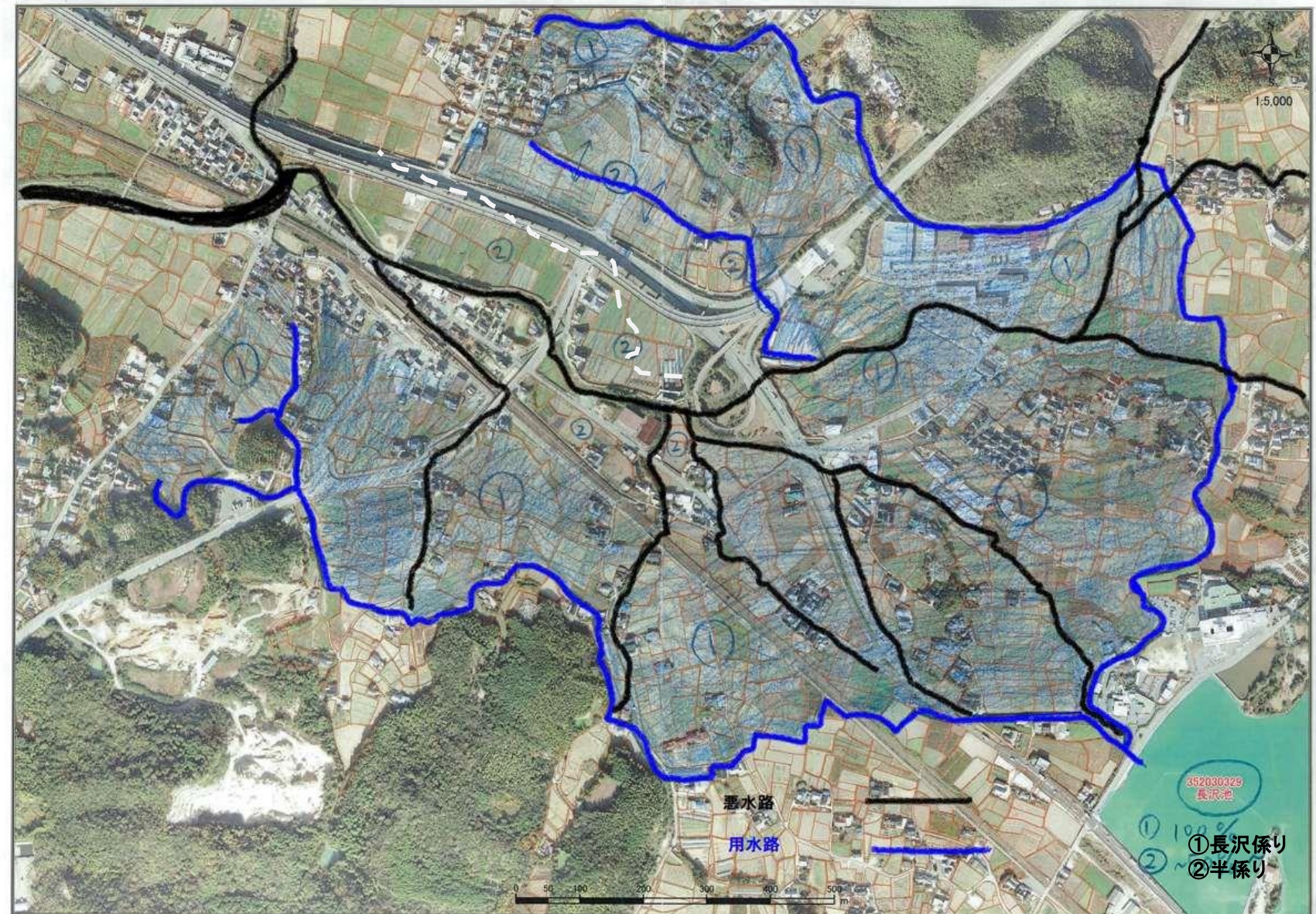
長沢係り用水路の老朽化

1651年に東条九郎右衛門により建造された用水路。主水路は南北に2本、長沢池からに水平に配置され、それから細溝で各地に配水されている。

水路は昭和62年にコンクリート製のU字溝に置き換えられている。

それらの傷みは近年顕著であり、その補修費は年々している。

今年度は4箇所補修要



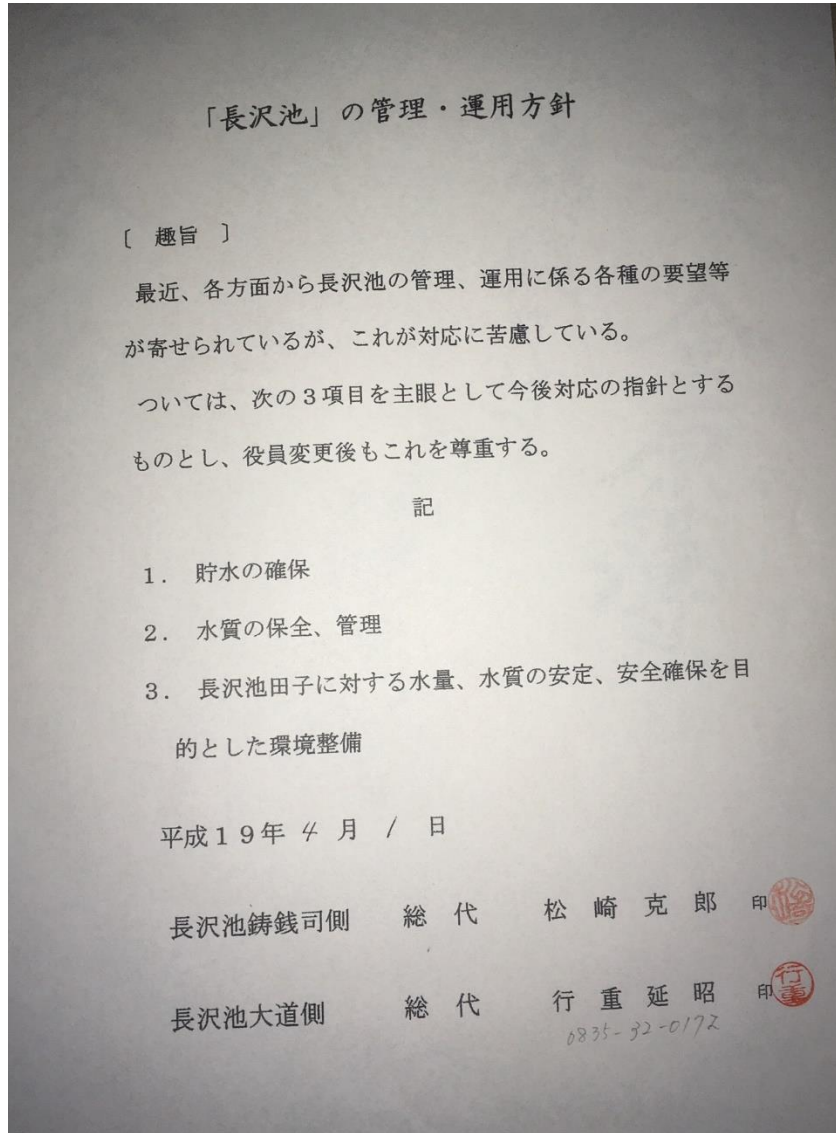
編集後記

- 1 水質、今年はCOD測定を2回実施、結果は5程度であり水質は普通、が、現況を観察すると、かなり汚濁している、よって、H30年4月の総会の決議のとおり、池の水を全部抜いた。その後、樋門（池内外）の点検を実施。樋は閉めず、開閉ゲートを倒し、田中川に排水を続けた、実際の樋締めは、10月2日となった。同時に受け水開始した。30年間に溜まったヘドロは約50cm堆積しており、今後は定期的なヘドロ抜きを実施して水質の浄化に努める必要があると思う。
- 2 太鼓橋の通路の石垣が崩落寸前、通路は法定外公共物であり、山口市の諸事業にて修復が可能なので、今後申請をすれば、その場合、地元にも相応の責務として20%を負担が必要とのこと。総会に審議事項ですが、関係者皆様の事前のご容認をお願いしたい。太鼓橋は10月中旬に、地元の専門職の方で修理、周辺の石垣は、崩落寸前であったので山口市の事業まで維持できない恐れもあるので、世話人様合同での応急的な補修作業を実施した。
- 3 水路の補修等
 - ①岡樋の吉南病院下の漏水対策として約100mは5月に単市事業にて補修済み
 - ②大村樋徳永邸付近の水路の側面の崩落は、8月4日に大村世話人で補修済。
 - ③今後の予定：各地区世話人で検討中です。
- 4 鑄銭司自治会への対応、長沢パーク構想等々の対応について
 - ①干潟の砂絵の件、7月に文書にて鑄銭司交流センターより依頼あり。
 - ②当法人の所有地であるフジバカマ植栽地付近、芝桜植栽地付近は、もやもやの状態で使用を続けておられる。今後は、地域の交流の為には、当組合は協力を惜しまない旨の合意文書を鑄銭司自治会と交わしたい。
- 5 池本体の営繕作業、周辺の草刈り。池の水藻類、今年は特に小池のヒシモ、ローソン付近のハスの処置を実施、来年度は注視して行く。当組合で池本体の営繕係の担当を決めて対処する必要があるかと思っておりますので、ご検討をお願いします。
- 6 当水利組合は平成20年に従来型の任意団体から、一般社団法人化し、会計、税務、会社登記、財産管理を法令準拠で遂行しているつもりです、公示事項等々はホームページに公開しており、長沢パーク構想関連の当方の対応等掲示しております。関係者各位の皆様でご意見がおありの方は遠慮なくお申し出てください。

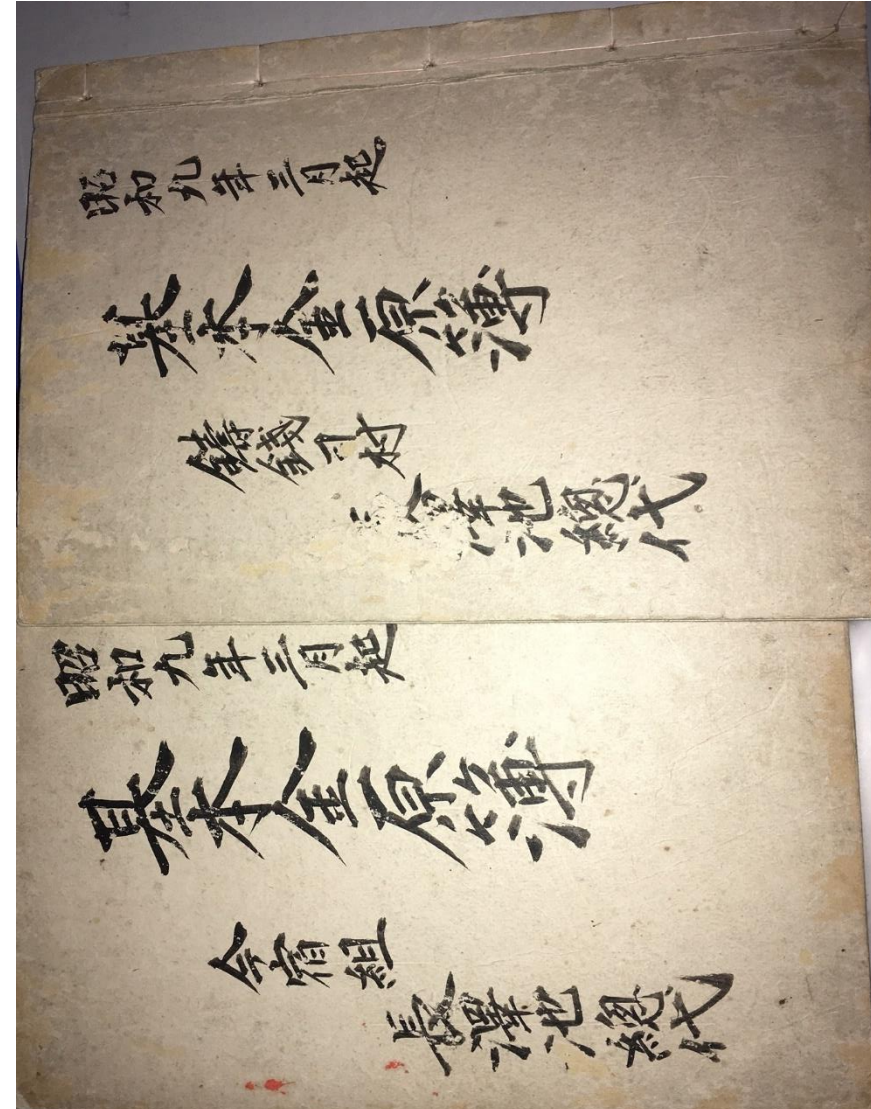
平成30年11月11日

編集人 一般社団法人長沢池水利組合
<http://www.5a.biglobe.ne.jp/~suzenji/index.htm>

先代の作られた 運用方針



昭和九年に単を発する会計簿



付録 松島の歴史

江戸時代、1651年、毛利藩の代官東条九郎衛門が長沢池を建造し、1663年には、日本三景の縮図をこの池の中に納め美しい景観を作るため、松島をかたどった島を作り、その中に巖島大神を祭り池の鎮守村の鎮守の森として崇めた、と記録にある。現在、**山口市鑄銭司/山1408、山口市鑄銭司/耕2279がこの島である。**

明治末期、1911年（明治四十四年）、神社合祀令により、この島の所有権は巖島大神より鑄銭司の氏神様である黒山八幡宮を經由して、今宿地区へ払い下げが行われた、かつての今宿地区は任意の団体であるため登記名義人にはなれない為、当時の地区民の2名を代表者として所有権を委任している状態となっていた。近隣にお住まいのだった、今宿東地区住民の松崎正男氏の著述にもあるように、明治45年今宿に居住している住民は、この地に新しく「石の祠」を建立したとある。この祠を弁天様と呼称している。

昭和、平成、と近隣地縁者から、今宿区住民が所有の意志を持って代々にわたり維持管理してきていることを聞かされている、幼少の折から平成30年までの約60年間は、毎年の春祭りでの余興を楽しみにしてきている者もいる。明治45年（1912年）から大正、昭和、を経て平成30年（2018年）の今日まで106年にわたって維持管理してきている。今宿区には、黒山八幡宮の神社組織があるが、この神社組織はこの春祭り等、この不動産関係の管理には一切の関与がない事からも、今宿区自治会が維持管理してきていることは明らかである。

昭和31年（1956年）近隣に吉南病院が開設された。今宿区自治会は昭和58年（1983年）から、この島を当病院の療養設備としての利用権を当病院へ賃貸していた。その状態は現在まで続いており、この37年間は、所有の意志を持って管理してきていることは断言できる。

平成25年から数年は、鑄銭司連合自治会では、竹藪伐採、木々の選定、整地を実施、河津桜苗木80本の植樹、パークゴルフ場を作るなど、この島の公園化に取り組んできている。鑄銭司郷土資料館、山口市中央農協らも各種行事に松島を利用してきている。

今宿区自治会のかつて構成は、道の上自治会（東、中、西集落）、道の下自治会（今宿西集落、今宿東集落、河原集落）で、昭和31年鑄銭司村が山口市と合併した頃、その構成は、道の上、今宿西、今宿東、河原の4自治会へと細分化された。現在のこの土地の管理者は、その4自治会の6地区の世話人6名である。役員は互選している。平成30年4月14日、この島を所有するために、この4地区を連合した今宿区を認可地縁団体とするための総会を開催し、総会は圧倒的多数で可決した。今後、この土地の登記をおこなった。維持管理の強化を進めて地域の活性に寄与したい。